

読響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

美しい旋律で描く“ライン川”
シューマン特有の“歌心”に溢れた
メロディが温かく響きわたる

ザルツブルク州立劇場の音楽監督を務める
スリランカ生まれの俊英
指揮=レスリー・スガナダラージャ
Conductor= LESLIE SUGANANDARAJAH

Schumann
Symphony No. 3
Rheinische

©Anna Löffelberger

ドヴォルザーク：歌劇「ルサルカ」から"ポロネーズ"

DVORÁK: 'Polonaise' from 'Rusalka'

ショパン：ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 作品11

CHOPIN: Piano Concerto No. 1 in E minor, op. 11

シューマン：交響曲第3番 変ホ長調 作品97「ライン」

SCHUMANN: Symphony No. 3 in E flat major, op. 97 'Rheinische'

Chopin
Piano Concerto No. 1

気鋭ガジェヴが瑞々しいタッチで
ショパンの名旋律を奏でる！

2021年ショパン国際コンクール第2位で話題となり
繊細な音色と確かな技術で人気を博す気鋭

ピアノ=アレクサンダー・ガジェヴ

Piano= ALEXANDER GADJIEV

読売日本交響楽団 第291回土曜マチネーシリーズ

2026年10月17日(土)

Saturday Matinée Series No. 291 / Saturday, 17 October 2026

読売日本交響楽団 第291回日曜マチネーシリーズ

2026年10月18日(日)

Sunday Matinée Series No. 291 / Sunday, 18 October 2026

1回券
7月20日(月・祝)
発売

各14時開演 東京芸術劇場 コンサートホール
14:00 Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

S¥8,800 A¥6,600 B¥5,500 C¥5,000

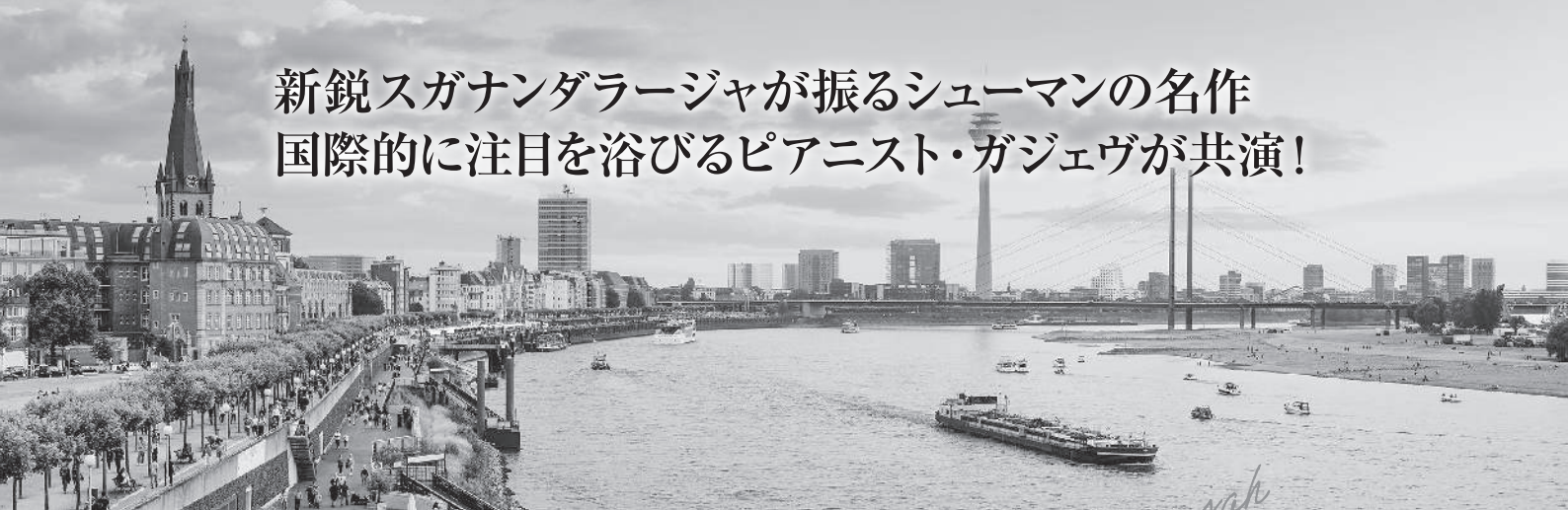
お申し込み・お問い合わせ
読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時・年中無休)
<https://yomikyo.or.jp/>

■学生の方は残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証・25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、キャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■本就学児のご入場は、固くお断りいたします。

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 共催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

新鋭スガナダラージャが振るシューマンの名作 国際的に注目を浴びるピアニスト・ガジェヴが共演！



まずは、日本では未知に近い指揮者、レスリー・スガナダラージャに期待が集まるコンサート。1983年スリランカに生まれた彼は、2歳の時に両親とドイツへ移住し、ハノーファー、リュベック、ワイマールで研鑽を積みました。そしてコブレンツ劇場とリンツ州立劇場のカペルマイスター、ザルツブルク州立劇場の音楽監督を経験し、2027年9月にはドイツのフライブルク劇場の音楽総監督に就任する予定。ドレスデン・フィル、MDR響、ロイヤル・フィル、BBC響に客演するなど、シンフォニー・オーケストラでの実績も十分です。つまり、最近では珍しい各都市の歌劇場からの叩き上げ。こうした実のある経歴の持ち主が、いかなる音楽を聴かせてくれるのか？ 大いに注目されます。

ピアノのアレクサンダー・ガジェヴへの期待も大。1994年スロヴェニアに近いイタリア・ゴリツィアに生まれ、ザルツブルクやベルリンでも学んだ彼は、2015年浜松国際ピアノコンクールで優勝するなど数々の良績を残した後、2021年のショパン国際ピアノ・コンクールで第2位を受賞し、さらなる注目株となりました。そして2024年から毎年ロンドンのウィグモアホールでリサイタルを行い、ザルツブルクをはじめとする著名音楽祭に数多く出演するなど、近年も着実に実績を重ねています。

プログラム最初のドヴォルザークの歌劇「ルサルカ」から“ポロネーズ”は、民族的で華麗なナンバー。ポーランドの舞曲をチェコの大家がどう料理しているのか？ 日本での演奏が稀な曲だけに聴き逃せません。2曲目のショパンのピアノ協奏曲第1番は広く知られた名作。今回はもちろん、ゆかりのコンクール2位の実績と多国にわたる経歴を生かしたガジェヴの新鮮な表現が楽しみです。後半はシューマンの交響曲第3番「ライン」。重厚かつ流麗な名曲ながら、表現が難しいシューマンの交響曲を、本場ドイツ語圏でキャリアを積んだスガナダラージャがどう構築するか？ これまた興味が募ります。

柴田克彦（音楽ライター）



レスリー・スガナダラージャ（指揮）

LESLIE SUGANANDARAJAH, Conductor

©Mathias Baus

感性豊かな音楽作りと自然体な指揮で、コンサートとオペラの両分野で活躍するスリランカ生まれの気鋭。幼少時に家族とともに移住したドイツでピアノ、フルート、オルガンを始め、ハノーファーとリュベックの音楽大学で学んだ後に、フランクフルト音楽大学で指揮課程を修了。2014/15シーズンからドレスデン・フィルのアシスタント指揮者としてキャリアをスタートさせた。2019年からザルツブルク州立劇場の音楽監督を務め「さまよえるオランダ人」「エフゲニー・オネーギン」などを指揮し好評を博す。これまでにロイヤル・フィルやBBC響、リンツ・ブルックナー管などに客演し、2026年秋からはオルデンブルク州立劇場コンサート部門の首席指揮者に、2027/28シーズンよりフライブルク劇場の音楽監督に就任予定。読響初登場。



アレクサンダー・ガジェヴ（ピアノ）

ALEXANDER GADJEV, Piano

©Vitoria Nazarova

完全無欠なテクニックと、強弱・音色を鋭敏にとらえた表現で聴き手を魅了する名手。9歳でオーケストラと初共演し、10歳で初のリサイタルを開催。モーツァルトやショパン・アイスラー音楽大学で学び、2015年には浜松国際ピアノコンクール優勝、21年にはショパン国際ピアノ・コンクールで第2位およびクリスチャン・ツィメルマン賞を受賞し話題を呼んだ。これまでにSWR響、ベルリン・コンツェルトハウス管、プラハ響などと共演するほか、19～21年BBCニュー・ジェネレーション・アーティストを務め、22年にはテレンス・ジャッド賞を受賞。23年にはイタリアのアッピアーティ賞とスロヴェニアのプレシェレン賞を受賞し、24年からはイタリアとスロヴェニアの国境を越えたフェスティバル「Prečkanja-Sconfinamenti」の芸術監督を務めている。読響初登場。

読売日本交響楽団 第291回 土曜マチネーシリーズ

2026年 **10月17日** (土) 14時開演
S ¥8,800 / A ¥6,600 / B ¥5,500 / C ¥5,000

読売日本交響楽団 第291回 日曜マチネーシリーズ

2026年 **10月18日** (日) 14時開演
S ¥8,800 / A ¥6,600 / B ¥5,500 / C ¥5,000

東京芸術劇場 コンサートホール（池袋） 東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111
●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分（※駅地下通路2b出口と直結しています）

■学生の方は残席がある場合、¥2,000で入場できます（要学生証／25歳以下）。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。【読響サービス】東京芸術劇場には一時託児サービスがあります（公演1週間前までに予約）。株式会社明日香0120-165-115（予約受付：平日9時～17時）■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時～18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可／チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296